

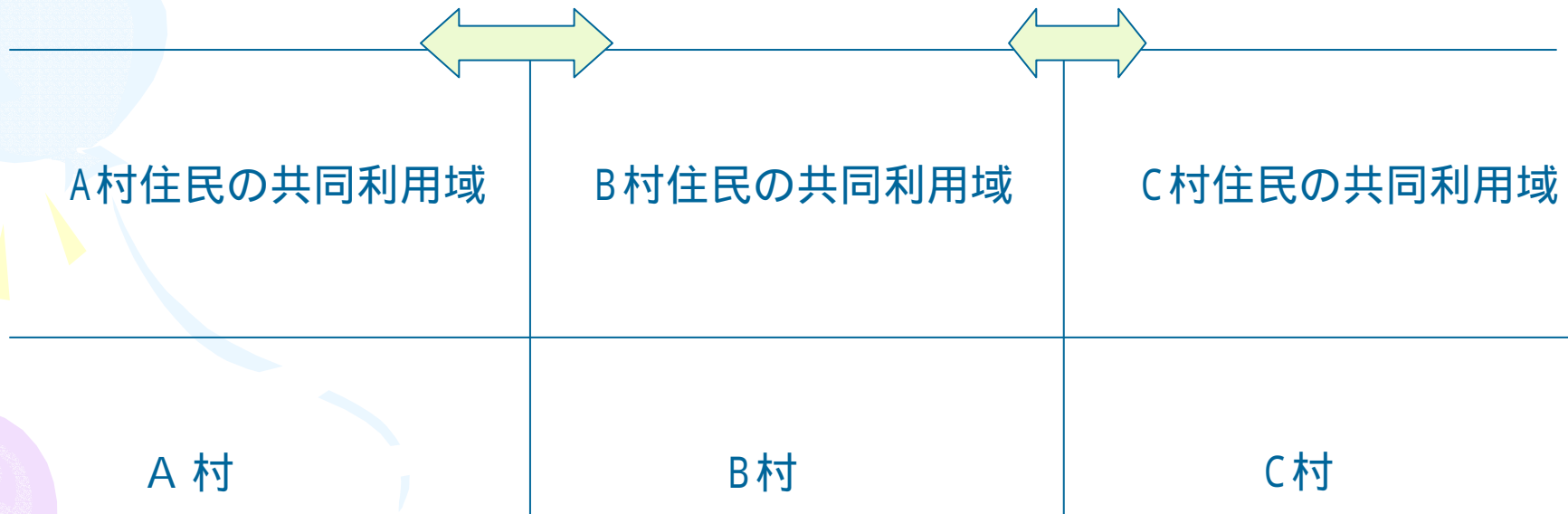


伝統的資源管理： フォーマル化に 向けて

インドネシアのパングリマ・ラウト

- サシ 1 慣習的な地域資源利用に関する取り決め
(非競争性)
2 排他的な資源利用権 (排除性)

ペラ 共同体間の繋がり (資源の相互利用を互いに認め合う特別な関係)



(村井吉敬 サシとアジアと海世界 より)

アチェ：パングリマ・ラウト

「海のキャプテン」(sea captain)

漁村 船団の中心的な存在

- 1 村内漁船および漁船員を束ね、操業の秩序を保つ
禁漁日 金曜日、国民の祝日、8月15日、宗教の日
取り決めに従わない者に対して罰則を課す
(漁獲物の没収、数日間の禁漁)

海域、漁船間の距離、その他を決定

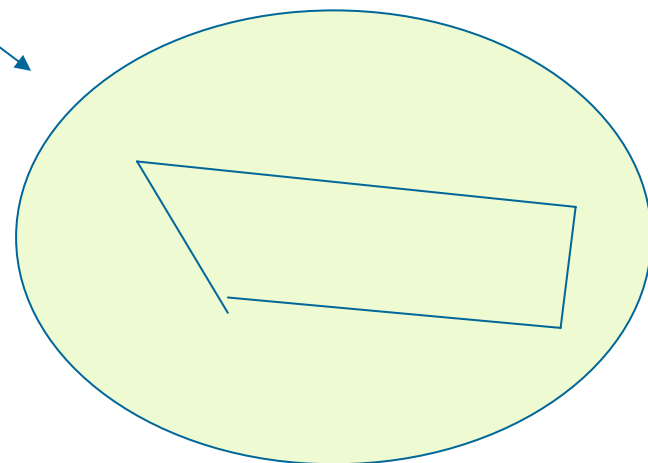
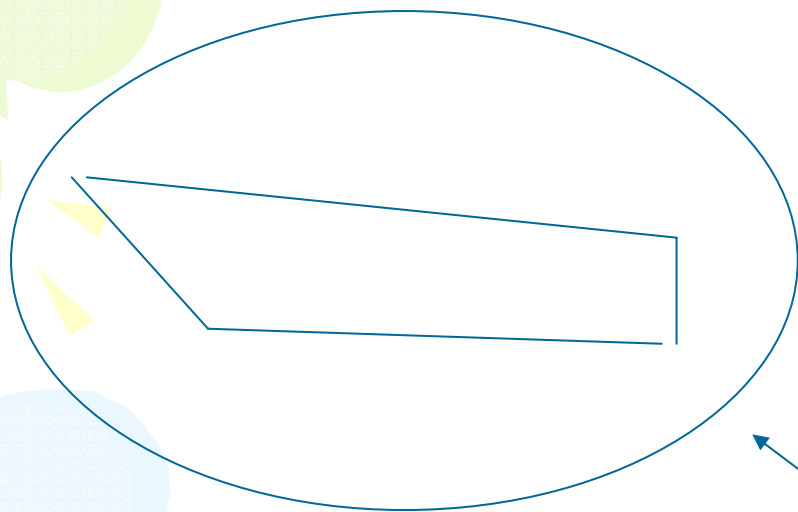
1 水揚げを始めると同時に光を小さくする(小 4-5本)

2 漁船間の距離の規程はないが、漁船間に双方の灯りが届かない空間を必ず設ける

双方の灯りが届かない距離

3 魚群発見の取り決め

- 1) 同時発見は漁獲を等分
- 2) 第1発見ボートが漁をやめたら、次のボートが漁を始める(5%を支払う)



2 村内漁船員の相互扶助を組織

遭難救助 一定期間は漁民全員で必ず遭難救助を行う

Ex. 漁船を3つのグループにわけて交代で捜索
3日間は捜索に専念し、休漁とする

義捐金の徴収と分配

遭難家族に義捐金を配分。定められた金額を漁民から徴収

Ex. 積み立て金 Rp2000/隻/週 家族への支払い
葬式代 漁船所有者
捜索費用 各漁船所有者負担

3 他村の船団との争いを調停(けん制を含む)

傘下漁民の利益を守るために、パングリマ・ラウト間で調停, 和解を行う

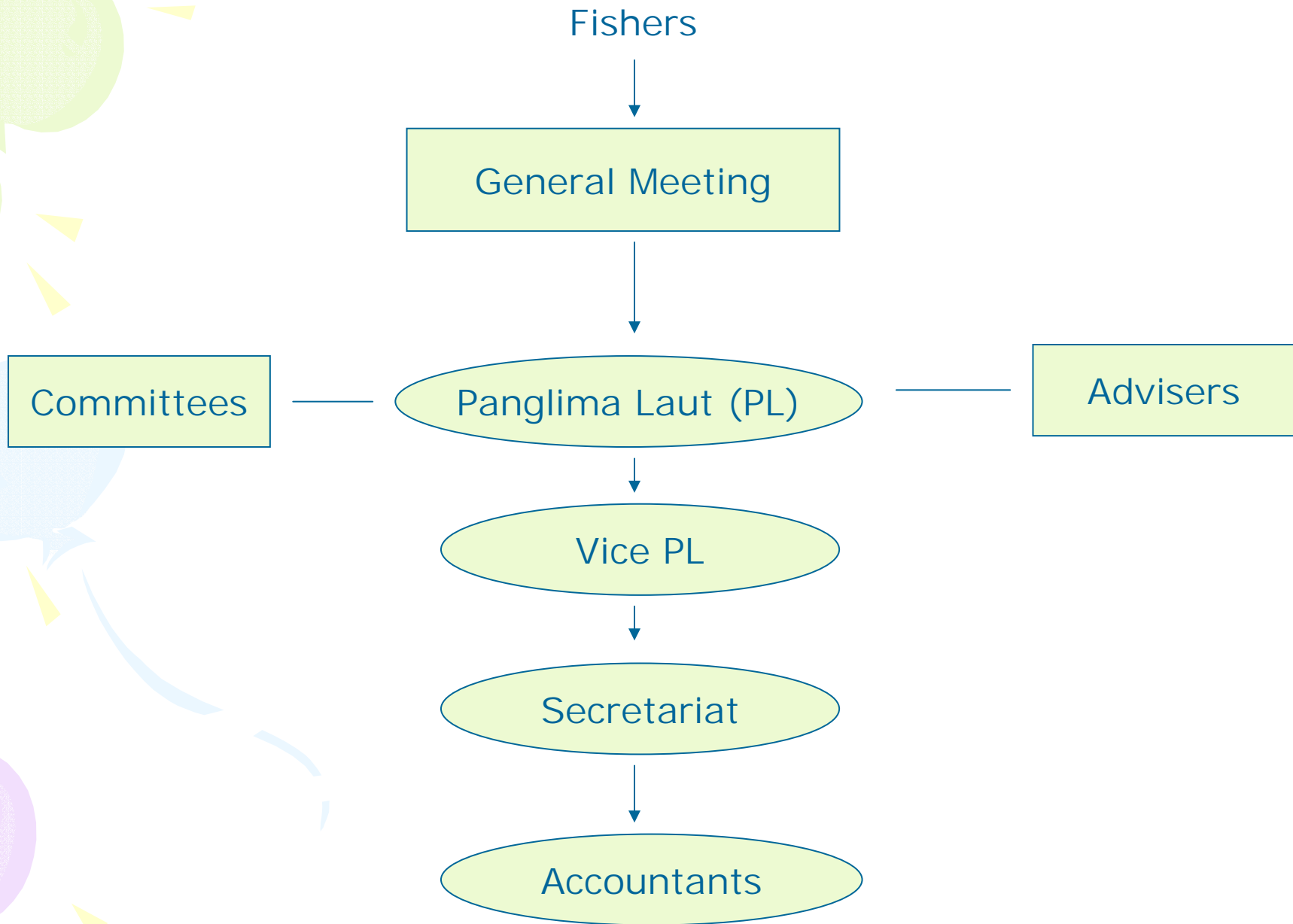
漁民は調停・和解を遵守する義務

イスラム教を軸にした村落住民の結びつき(ヒエラルキー)

(参考) パングリマ・ラウトの二極化

1 漁船乗組員を束ねるだけのパングリマ・ラウト

2 漁船主を兼ねたパングリマ・ラウト (経済力を背景に強大な権力)



パングリマラウトと地方水産行政

州水産行政



パングリマ・ラウトの制度化



慣行の存在を容認，管理と紛争を
調停する権限を委譲

パングリマ・ラウトの連合組織が成立

広域的な漁業管理への発展(商業的な漁船漁業への対応)

村落内漁業管理の限界の打破！！

サシなどの慣習が存在する条件

- 1) 人口密度の低さ
- 2) 地縁社会を基盤とする漁民の等質性(人種, 民族、宗教、文化)
- 3) 生産性の低い漁具・漁法
- 4) 都市市場から遠いこと
- 5) 住民相互の信頼性

(秋道)

加えて, フォーマル化(水産行政による支援)

演習問題

- 1) 伝統的な資源管理システムはなぜ廃れてきているのか。商品経済の浸透による伝統的な生産、生活、人間関係、社会システムの変化を考慮しながら、説明しなさい(インドネシアのサシを事例に)
- 2) なぜ、インドネシアの水産行政は、伝統的な資源管理システムの維持・再編を打ち出すにいたったのだろうか。背景を考えなさい。



参考 伝統的社会的 変容

資本主義社会

資源・環境開発 (資本への従属)

商品生産社会 (商品生産の論理)

企業形態 資本・賃労働関係
(非人間的契約関係)

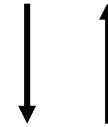
利潤極大化の追求と分配

私的所有に基づく社会運営

人間価値観・社会価値観の変容

伝統社会

資源・環境利用 (共生と持続)



自給生産社会 (生存維持の論理)
家族・共同体
互酬的パトロン・クライアント関係

平等的分配への志向

共同体的所有に基づく社会運営

内在化された変容へのエネルギー

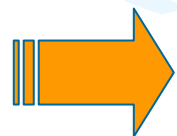
伝統的社会から商品生産社会への変容

インボリューション社会と 貧困の共有

「農業インボリューション」(ギアツ)

一定の耕地に労働力を極限にいたるまで投入して単収の極大化を求める生産のパターン (集約的資源利用)

1人当たりの経済的パイも細分化



貧困を相互に共有する社会

相互扶助的な所得分配機能

貧困の共有

共有社会の慣行

想定：人口増加は資源の細分化を招く。住民が下方に分解していくメカニズムの存在

現実：資源利用と労働の機会を住民の間で均等に分配しあう慣行が存在

貧困を共有しあえる人間関係

労働の機会を手にする権利・義務
資源を平等に利用する権利・義務

生存維持の論理

自給生産社会

- 1) 低い生産力
→ 生存の危機への対応
- 2) 未分化の社会
→ 分化を回避

住民の行動原理：**安全第一** **危険回避**

→ 低い水準にあってもどうにか生存が保障されるその水準を維持しようとする

互酬的人間関係

パトロン・クライアント関係

↓

道徳的規範： 1) 他者への救い
2) 人間関係における危険回避

「保護するものとされるもの」

パトロン： 雇用の場，所得の機会，生活の保障をあたえる

クライアント： 労働力を提供，政治的支持，生存保障を求める

人間関係変化の要因

1) 資源所有の不平等化

→ 資源所有が権力の要素

2) 人口成長

→ 住民の数が増加し、パトロンの交渉力が強化

3) 商業的生産への移行

→ 生産財、消費財が必要、新たな依存

4) 余剰資源の喪失

→ 共有資源の喪失はクライアントの地位を弱める

資源エンクロージャーの影響

「共有的」資源の占有化

資源の国家所有と管理, 払い下げ, コンセッション

雇用の場の喪失, 共同体的人間関係の崩壊
生存維持基盤の喪失

強圧的な人間関係による
社会運営

貧困の増大
資源利用の不平等
搾取と被搾取
(支配と被支配)

⇒ 吸収の場が確保
できるか?